

科目名	公衆衛生看護学特論 Theories of Public Health Nursing		担当教員 (研究室番号)	大越 扶貴 (405)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	支持科目		選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											遠隔授業	否
科目 目的	地域のケアに関する概念・理論を理解し、効果的な支援方法について探求する。											
到達 目標	1) 地域のケアに関わる概念・理論を理解し、支援方法が検討できる。 2) 地域のケアに関する概念・理論、支援方法について、実践への適用が検討できる。											
成績評価方法 (基準)	レポート(70%)、出席状況・プレゼンテーション評価(30%)により総合的に評価する。											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時紹介する。 Anderson ET, McFarlane JM. Community as Partner: Theory and practice in nursing. Philadelphia: Lippincott, 2004. 金川克子編著「地域看護診断」[第2版] (東京大学出版会) 2011. 金川克子・早川和生監訳「コミュニティ・アズ・パートナー」第2版(医学書院) 2006.											
受講者への メッセージ	公衆衛生看護実践のあり方について、様々な角度から探究していきます。問題意識をもって臨んで下さい。											
備考												
回	学習項目			学習内容					主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション 公衆衛生看護に係る基本的用語			特論の位置づけと学習概要 先行研究や自身の経験を踏まえながら、公衆衛生看護に係る基本的な用語(地域、特定集団等)について検討・考察する。					大越	講義		
2回	健康行動理論の基礎 1			健康に関する行動の変容と維持に関する理論としての健康信念モデルと行動変容理論について事例を通して検討・考察する。					大越	講義		
3回	健康行動理論の基礎 2			健康に関する行動およびセルフケアなどに影響を与えるソーシャルサポートについて事例を通して検討・考察する。					大越	講義		
4回	健康行動理論の基礎 3 (課題発表①)			既習の健康行動理論を用い、自己の実践事例等を考察し、レポート発表する。					大越	講義		
5回	ヘルスプロモーション 1			震災後の看護職の活動事例をオタワ憲章やナットビームのヘルスプロモーション・アプローチの一般原則を用いて考察・検討する。					大越	講義		
6回	ヘルスプロモーション 2			ヘルスプロモーションに係る計画作成、実施、評価のためのモデルとしてのプリシード-プロシードモデルについて概説する。					大越	講義		
7回	ヘルスプロモーション 3 (課題発表②)			ケースメソッドを通してヘルスプロモーションの実践的理解を深める。					大越	講義		
8回	地域診断 1 - 理論と概念			コミュニティ・アズ・パートナーモデルについて概説する。					大越	講義		
9回	地域診断 2 - 理論と概念			コミュニティ・アズ・パートナーモデルについて、事例を通して学ぶ。					大越	講義		
10回	地域診断 3 - 方法論			エスノグラフィーについて事例を通して学ぶ。					大越	講義		
11回	地域診断 4 - 方法論			事例(A市)の政策立案過程をモデルにし、住民ニーズの把握方法について考察・検討する。					大越	講義		
12回	地域診断 5- (課題発表③)			自己の研究テーマに関連する特定集団を選定し、地区視診する。					大越	講義		
13回	グループ支援の理論 1			健康問題の解決や軽減等に重要なグループ支援(目的、類型、集団力動等)について学ぶ					大越	講義		
14回	グループ支援の理論 2			ピアサポート・グループおよびセルフヘルプ・グループの意義や意味について事例を用いて検討・考察する。					大越	講義		
15回	グループ支援の理論 3			自己の実践事例を通して、ファシリテーション方法を含めたグループ支援のあり方や実践への応用について考察する。					大越	講義		